

2020年4月1日
トーカドエナジー株式会社

2020年度入社式社長挨拶

～ 初心を忘れずに、夢や希望を持ちながら挑戦しつづけていく ～

トーカドエナジー株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：藤川 毅）は、4月1日に入社式を行い、新入社員13名（本社3名、白石工場10名）を迎えました。入社式における社長挨拶は以下の通りです。

皆さん、入社おめでとうございます。トーカドエナジーグループを代表して、心からお祝い申し上げます。

トーカドエナジーは今年、創業48年目を迎えます。創業当初は三洋電機の二次電池の販売代理店でしたが、今はメーカーとしてリチウムイオン二次電池のバッテリーパック、充電器、ストロボ等を様々なお客様に提供させていただいております。東京本社、白石工場、大阪、そして中国、香港、アメリカと国内外の生産拠点や事業拠点とのネットワークを通じ、開発から生産を一貫して担う規模にまで成長してまいりました。昨年10月には、内定式を白石工場で行い、「日本のモノづくり」現場を皆さんの目で見ていただきました。

当社は自由闊達に仕事ができるような会社造りを目指しています。新入社員の皆さんの若さあふれる力と、これまでに学んできたことを存分に発揮してください。変革を進める当社グループの一員として「変わり続けること」「変えていくこと」を常に意識しながら、行動してほしいと思います。

今日から新年度が始まり、皆さんは社会人として人生の新しい扉を開くこととなります。私もこの時期になると、必ず初心に戻り、自分の「こうありたい」という夢や希望に向けて、現状に満足せず、もっと努力しなければならないと考えます。

最後になりますが、皆さんにはルーキーとして「バッテリーボックス」に立ち、思い切りスイングしてほしいです。そして、今の意気込みや、満ち溢れるやる気を職場にも吹き込み、上司や先輩に刺激を与える「起爆剤」となることを期待しています。一緒に力を合わせて頑張らしましょう。

以 上